

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会開催基本構想【概要版】

第1章 開催基本構想について

策定の趣旨・目的等

「開催基本方針」の実施目標の達成に向けた取組や、両大会終了後のレガシー創出・継承の方向性を取りまとめたもの

今後の開催準備・大会運営の具体的な取組等への活用
滋賀が目指す大会の姿の県内外へ発信や大会開催の機運醸成に活用

位置づけ

- 開催基本方針に基づき、開催準備委員会が策定するもの
- スポーツ行政に係る計画や開催準備委員会で策定済みの指針・計画等と整合性確保

第2章 国民スポーツ大会および全国障害者スポーツ大会について

【国民スポーツ大会】

- スポーツの普及、国民の健康増進と体力向上、地方スポーツの推進と地方文化の発展への寄与、国民生活を明るく豊かにすることを目的に開催

【全国障害者スポーツ大会】

- 障害のある人が、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的に開催

【両大会開催の意義】

- スポーツの「する」、「みる」、「支える」が促進され、夢や感動の共有や、健康づくり促進につながる
- 障害のある人も無い人もともにスポーツを楽しむことで、共生社会の実現につながる
- 滋賀の魅力の全国への発信や滋賀の活力を高めることにつながる

第3章 開催基本方針 ～滋賀が目指す大会の姿～

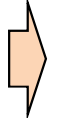
開催基本方針(H25.10月 第1回総会決定、R1.5月第7回総会改正)

<基本方針>

- 次代を担う人育て
- 活力に満ちた真心通い合う郷土づくり
- 全国から滋賀を訪れる多くの人との交流
- 県民総参加により、夢や感動、連帯感を共有
- 県民が身近にスポーツを楽しむことのできる環境づくり
- 健康・体力の保持増進と競技力の向上
- 障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加
- ふるさと滋賀の活力をさらに高め、持続可能な共生社会を実現

<実施目標>

- 1 滋賀をスポーツで元気にする大会
- 2 滋賀の若者や女性が主体的に関わる大会
- 3 県民総参加でつくり、「滋賀の力」を伸ばす大会
- 4 滋賀の魅力を再発見し、地域の活性化やビジネスにつなげる大会
- 5 滋賀の子が、滋賀で育ち、滋賀で活躍する大会
- 6 滋賀の未来に負担を残さない大会
- 7 すべての人がともに支え合う滋賀を目指す大会



全国から多くの人々が集う
「スポーツの祭典」を通じて
滋賀の新たな時代の創造に
つながる「レガシー」を創出し、
次世代へ継承していく

第4章 両大会の開催準備および大会運営の取組 ～実施目標の実現・レガシー創出・継承に向けて～

『実施目標1 滋賀をスポーツで元気にする大会』に向けた取組

- 1 県民のスポーツ活動の促進
両大会の観戦やデモスポ等への参加の呼びかけや、各競技の魅力・選手の魅力等の情報発信
- 2 健康づくり活動の促進
両大会やスポーツを通じた健康づくりに係る情報発信等
- 3 スポーツ・健康づくり環境の整備
スポーツ施設の整備



2025滋賀レガシー 「生涯にわたり健康でスポーツに取り組む滋賀の人々」

スポーツ実施率の向上
シンボルスポーツの創出・定着
健康寿命の延伸



『実施目標2 滋賀の若者や女性が主体的に関わる大会』に向けた取組

- 1 子ども・若者の大会準備・運営への参画
小学5年生から大学生で構成する子ども・若者(ジュニア・ユースチーム)の提言の反映
子ども・若者に分かりやすく楽しい訴求力のある広報
- 2 女性の大会準備・運営および大会への参加の促進
開催準備や運営への女性の視点・意思の反映
女性に訴求力のある広報
デモスポや関連イベント等における女性や子育て中の方の参加への配慮



2025滋賀レガシー 「スポーツで輝く滋賀の子ども・若者・女性」

スポーツ推進の次世代の担い手
スポーツに親しむ女性が増加し、活躍できる環境



『実施目標3 県民総参加でつくり、「滋賀の力」を伸ばす大会』に向けた取組

1 多様な主体との連携・協働

すべての県民が何らかの形で両大会に参加できる機会を創出

2 スポーツボランティア活動の推進

大会運営・手話・要約筆記等のスポーツボランティアの養成・確保 参加機会の情報提供

3 みんなの心に残る大会運営

愛称・スローガンやマスコットキャラ、イメージソング等による楽しい雰囲気づくり・機運醸成
滋賀の魅力を表現した開・閉会式 2024年パリオリンピック・パラリンピックを活かした機運醸成

2025滋賀レガシー 「連携・協働で伸ばされた「滋賀の力」」

地域の連帯感や郷土愛の醸成 スポーツを支える文化の定着
経験豊富なスポーツボランティア 社会貢献活動のさらなる活性化



『実施目標4 滋賀の魅力を再発見し、地域の活性化やビジネスにつなげる大会』に向けた取組

1 おもてなしと滋賀の魅力発信

来県者を温かく歓迎し、心のもったおもてなしを行う
滋賀の魅力を発信し、来県者に滋賀での滞在を楽しんでもらう 県民一人ひとりが滋賀の魅力を再発見

2 「大会文化プログラム」の展開

滋賀ならではの文化・芸術やスポーツ文化の発信、eスポーツなど、来県者が楽しめる「大会文化プログラム」の展開

3 スポーツビジネスの展開

来県者に向けて、自然・歴史・文化・食等を活かした滋賀ならではのツーリズムを提案

2025滋賀レガシー 「魅力と活力にあふれる滋賀」

「滋賀ファン」の増加
認知度が高まり、さらに磨き上げられる滋賀の魅力
スポーツツーリズム等の普及



『実施目標5 滋賀の子が、滋賀で育ち、滋賀で活躍する大会』に向けた取組

1 競技力の向上

選手・競技団体・指導者の育成・強化等により、競技力向上を図り、天皇杯を獲得するとともに、両大会を契機にさらに国際大会等で選手が活躍し、そうした選手が指導者となる好循環の形成を目指す

2 スポーツを支える人材の育成

指導者や競技役員、競技補助員の養成・資質向上 (再掲)スポーツボランティアの養成・確保

2025滋賀レガシー 「全国や世界の舞台で活躍する滋賀のアスリート」

競技力の向上
県民のスポーツに対する高い関心
質の高い指導者等



『実施目標6 滋賀の未来に負担を残さない大会』に向けた取組

1 大会運営の簡素・効率化

先催県のノウハウ活用による効率化や競技用具の借用・他県との共同購入の検討

2 財政負担を考慮した施設整備

既存施設の活用や事業費の抑制

3 開催準備および大会運営における環境配慮

廃棄物の発生抑制や分別、環境にやさしい製品の利用、マイカー自粛・アイドリングストップ等

2025滋賀レガシー 「持続可能な滋賀への貢献」

大会運営の簡素・効率化および既存施設の活用等による財政負担の軽減
持続的に有効活用されるスポーツ施設
県民の環境配慮意識のさらなる向上



『実施目標7 すべての人がともに支え合う滋賀を目指す大会』に向けた取組

1 国民スポーツ大会と全国障害者スポーツ大会の一体的な開催

開催準備・大会運営の各業務の基本方針・計画等を両大会共通のものとして策定
広報・情報発信や関連イベント等の一体的な実施や、ボランティアや競技会係員等の一体的な養成
両大会の運営において、一体的に開催できる方法を検討し、共生社会に向けた大会の姿を発信
国民スポーツ大会とともに、全国障害者スポーツ大会に向けた競技力向上を併せて推進

2 障害のある人の大会準備・運営への参画および大会への参加の促進

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に障害のある人の意見や視点を反映 デモスポ、オープン競技等への参加の配慮

3 ユニバーサルデザイン等に配慮した大会運営

施設のユニバーサルデザインへの配慮
相手の状態や立場に立った、思いやりのある大会運営を行うとともに、障害のある人に配慮した行動を県民や来県者等に呼びかけ

2025滋賀レガシー 「人がともに支え合う滋賀」

障害に関する知識や障害者理解の普及
「心のバリアフリー」の普及
障害者スポーツの普及
誰もが利用しやすいスポーツ施設

